

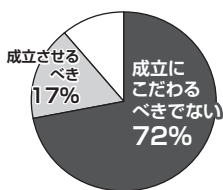
こんな時に増税なんて

消費税10%ストップ

民主、自民、公明の3党が、消費税増税法案の国会会期末(21日)までの衆院採決に向け、「修正」協議という名の“増税談合”を行っています。15日(金)にも「修正」合意という緊迫した状況です。

国会では増税「賛成」派が多数に見えても、国民は「反対」が多数。どんな世論調査でも50数%から60数%は反対です。“増税談合”の動きは、民意に真っ向から背くものです。**害悪明らかに**

増税「今国会で」は17%(「朝日」調査)



朝日新聞の世論調査(6月6日付)によると、消費税増税法案を「今国会で成立させるべきだ」はわずか17%にとどまっています。世論は「増税急ぐな」です。

国会審議を通じて▽暮らしと経済をどん底に▽財政危機をひどくする▽貧困と格差に追い打ち—など消費税増税の害悪が明らかになっています。暮らしも経済も大変な時、消費税10%なんてとんでもありません。消費税増税法案を廃案に追い込むため力をあわせましょう。



滋賀県内の100を超える団体と個人が共同したこんな時に消費税10%とんでもない県民集会 11月3日、大津市

緊迫 民自公 増税談合 許すな

消費税に頼らない別の道があります

日本共産党は、消費税増税に反対するだけでなく、それにかわる財源を示す抜本的対案を発表しています。①富裕層、大企業ばかりが優遇される今の税制をた

だし、能力に応じて負担する税制に大改革して社会保障をよくする、②国民の所得をふやし経済を立て直す—この2つの改革を同時並行で進めます。